

※ 選択教材

学習プリント〈社会5年 あたたかい土地のくらしー沖縄県ー〉NO.1

月 日

教科書 p 48～49

学校の実態に合わせて「あたたかい土地のくらし」か「寒い土地のくらし」のどちらかを選択して取り組ませてください。

組 番 名前 (_____)

1 地図帳を見て、沖縄県の位置を確認しましょう。その後、教科書 p 48 の□1～□3の資料を見て、沖縄県の気候の様子についてまとめましょう。

・沖縄では、3月から4月に（海開き）をしている。

・沖縄には、毎年、およそ（7または8）個の（台風）が通る。沖縄県は、日本で最も台風の被害が（多い）県である。

・沖縄の那覇は、冬でも気温は（15）℃以上あり、あたたかい。

2 教科書 p 49 □4や□5の資料を見て、沖縄県では、あたたかい気候に合わせて、どのような工夫をしているのか、気付いたことを書きましょう。

・屋上には、水不足に備えて貯水タンクがある。

・戸を広くとって、家の中の風通しをよくしている。など

3 沖縄でさいばいされている作物、沖縄の観光地や文化など、沖縄県について知っていることや知りたいと思うことを書きましょう。

・さとうきびやパイナップルが栽培されている。

・プロ野球のキャンプ地になっている。

・首里城がある。 など

1 教科書 p 50・51 を読んで、あたたかい気候に合った農業について () にあてはまる言葉を書きましょう。

「さとうきびのさいばい」

・さとうきびは、収穫^{しゅうかく}時の高さが (2 m) にもなり、沖縄県内で (一番多く) つくられている作物。(日差しまたはかんばつ) や (台風) などに強く、(沖縄の宝) とよばれ、大切にされている。

・さとうきびは、(12) 月ごろから (3) 月ごろに収穫される。

「パイナップルのさいばい」

・国内産のほとんどが (沖縄県) で生産される。パイナップルは、植え付けてから収穫まで (2年) もかかる。

・パイナップルが、沖縄の暑い日差しで (日焼け) しないように一つ一つ (ふくろ) につつんだり、(ネット) をかけたりして工夫している。

・収穫は (夏) に行われ、葉の先にあるとげから体を守るために (厚い) 作業服を着て収穫するので、大変。

2 教科書 p 52・53 を読んで、あたたかい気候に合った観光や沖縄の課題について () にあてはまる言葉を書きましょう。

「沖縄県の観光」

・1年を通して (あたたかく)、美しい自然が残されており、世界遺産^{いさん}の (首里城) もある。また、プロ野球やサッカーチームの (キャンプ) も行われている。

・観光客は年々 (増えて) いる。また (外国人) 観光客も増えており、さまざまな (言語) の (案内標識) の設置を進めるなどのくふうをしている。

「沖縄県の課題」

・(海水) の温度が上がることなどによって (さんごしょう) が弱ってしまう。

・(開発) などによって、(赤土) が海に流れこみ、環境を悪化させる。

・アメリカの (軍用地) が多い。

1 教科書 p 54・55 を読んで、沖縄県の文化について () にあてはまる言葉を書きましょう。

・140年ほど前、沖縄県には王国(琉球王国)があった。(首里城)はそのころの建物をよみがえらせたもので、(世界文化遺産)に登録されている。

・地域には(エイサー)とよばれるおどりが今も残っている。

・沖縄県の料理には、(ゴーヤー)や(もずく)など特産物が使われている。

・(三線)は沖縄県の歌やおどりに欠かせない楽器。

・沖縄県の人々は、自分たちの(文化)を大切に守り、次の世代に(引きつごう)としている。

2 あたたかい土地のくらしの特色を考え、教科書 p 55 の表にあるキーワードを使って、キャッチコピーをつくりましょう。また、そのキャッチコピーにした理由を書きましょう。

キャッチコピー

台風にも水不足にも負けないさとうきび

理由

かんばつや台風にも強いさとうきびは、昔から沖縄の農業を支えてきた。そしてこれからも沖縄の農業を支えていくと思ったから。 など

※ 選択教材

学習プリント<社会5年 寒い土地のくらしー北海道ー>NO.1

月 日

教科書 p 56～57

学校の実態に合わせて「あたたかい土地のくらし」か「寒い土地のくらし」のどちらか
を選択して取り組ませてください。

組番 名前 ()

1 地図帳を見て、北海道の位置を確認しましょう。その後、教科書 p 56 の□1～□3の資料を見て、北海道の気候の様子についてまとめましょう。

- ・北海道では、(スキー) や (スケート) の学習をしている。
- ・北海道の冬は、気温は (0) °C以下になり、寒い。
- ・北海道の札幌市は、東北地方のほかの都市と比べると、(人口) が多く、1年間の (雪) のふる量が青森市に次いで多い。

2 教科書 p 57 □4や□5の資料を見て、北海道では、寒い気候に合わせて、どのような工夫をしているのか、気付いたことを書きましょう。

- ・二重まどを使い、室内のあたたかさをにがさないようにくふうしている。
- ・屋根の雪が下に落ちないようにくふうされた無落雪の家が多く見られる。など

3 北海道の雪に対する取り組み、北海道でさいばいされている作物、北海道の観光地や文化など、北海道について知っていることや知りたいと思うことを書きましょう。

- ・札幌市では、雪まつりが行われている。
- ・じゃがいもが多く作られている。
- ・アイヌの文化が伝わっている。など

1 教科書 p 58・59 を読み、札幌市の雪対策と雪を生かした観光について () にあてはまる言葉を書きましょう。

「札幌市の雪対策」

- ・世界的に見ても、人口が (100 万人) 以上の都市で毎年 (6 m) 近くの雪がふるのは (札幌市) だけ。
- ・雪の多い日は、(夜中) から (朝) の通きん時間まで、1日に除雪車 (約 1000) 台、(約 3000) 人で道路などの雪を取りのぞく。
- ・除雪した雪は、約 70 か所ある (雪たい積場) に運ぶ。市の中心部には、(ゆう雪しせつ) をつくるなどくふうしている。

「雪や夏のすずしさをいかした観光」

- ・札幌市をおとずれた観光客数は、(8) 月がもっとも多く、夏に比べると冬の観光客は (少 または、多く) ない。
- ・冬に (雪まつり) を行い、観光客の増加に努めている。今では、多くの人々を集める (世界) に知られるイベントとなった。
- ・(雪まつり) は、(すてられた雪) を利用しようと中学生や高校生が始めたおまつりがきっかけ。

2 教科書 p 60・61 を読み、自然を生かした十勝地方の農業について () にあてはまる言葉を書きましょう。

- ・十勝地方は、(広大な平地) が広がり、夏も (すずしい) 気候。
- ・(じゃがいも) をはじめとして、(あずき)、(スイートコーン)、(てんさい)、(小麦) を作っている。
- ・作物の病気を防ぐために、(輪作) をしている。
- ・畑の規模が大きい十勝地方では (大型の機械) を使って作業が行われる。

1 教科書 p 62・63 を読んで、北海道の文化について () にあてはまる言葉を書きましょう。

- ・北海道で昔から生活していたのは、先住民族である(アイヌ)の人々。
- ・アイヌの人々は、(チセ)とよばれる家に住み、魚や動物、山菜をとったり、あわなどのぎっくを育てたりしながら、(ゆたかな自然)の中でくらしていた。
- ・自然のめぐみに(感しゃ)しながら、すべてのものや生き物に、(カムイ)(神)を感じてくらしていた。
- ・北海道の地名の多くは、(アイヌ語)が由来になったとされている。札幌はアイヌ語で(サッポロペツ)、意味は (かわいた大きな川)。

2 寒い土地のくらしの特色を考え、教科書 p 63 の表にあるキーワードを使って、キャッチコピーをつくりましょう。また、そのキャッチコピーにした理由を書きましょう。

キャッチコピー

雪をこく服し、雪とともに生きる北海道

理 由

たい積場やゆう雪施設などをつくり、除雪が早くできるようにして、人々の生活がこまらないようにするだけでなく、雪まつりで人々を楽しませることができるから。 など

教科書 p 42～43

組 番 名前 (_____)

1 教科書 p 42 **1** の写真を見て、四季の変化についてまとめましょう。

長野県松本市では、(春) は桜がさき、(夏) には太陽の光がふり注ぎ、
(秋) には木々が紅葉し、(冬) には雪景色が見られます。

6月中ごろから7月ごろにかけては、雨が多くふる (つゆ) の時期です。そして、
(夏) から (秋) にかけては (台風) がやってきます。

(四季) の変化が見られることは、日本の (気候) の大きな特色です。
(気候) とは、その地域の天気、気温、風などの長い年月の平均的な状態です。

2 教科書 p 43 **2** や **3** ～ **6** の資料を見て、地域による気候の違いについて考えます。

- (1) 北海道でえぞやまざくらが一番はやくさきはじめる月日は何月何日でしょう。
また、沖縄でひかんざくらが一番はやくさきはじめる月日は何月何日でしょう。

北海道 えぞやまざくら

4月 20日

沖縄 ひかんざくら

1月 16日

- (2) なぜ、北海道と沖縄では、桜がさきはじめる時期がちがうのでしょうか。 **3** と **6** の資料を見比べて、まとめましょう。

3月の北海道と沖縄を比べると、北海道知床半島では、(流氷) が見られ、
沖縄県石垣島では (海開き) が行われています。3月の北海道と沖縄では、
(あたたかさ) が大きくことなるのだと思います。

教科書 p 44～45

組 番 名前 (_____)

1 教科書 p 44 1 の資料を見て、7月と1月の降水量の違いについてまとめましょう。

- ・ 太平洋側の降水量は (7) 月に多い。
- ・ 1月に降水量が多いのは (日本海) 側である。

2 教科書 p 44・45 の文章を読んで、つゆと台風、季節風についてまとめましょう。

つゆ………… (6月中ごろ) から (7月ごろ) にかけて、雨が多くふる時期のこと。場所によっては (短時間) で多くの雨がふる。(農業) にとっては、めぐみの雨となる大切な時期。

台風………… (夏) から (秋) にかけて、日本をおそう。特に (沖縄) や (九州)、(四国地方) は、台風の被害が多い。

季節風…… (季節) によってふく方向が変わる風のこと。日本の上空では、夏には (南東) (太平洋) から、冬は (北西) (ユーラシア大陸) からふく。夏には (太平洋側) に多くの (雨) をふらせ、冬には (日本海側) に (雨) や (雪) をもたらす。

3 教科書 p 44・45 を参考に、つゆと台風、季節風のえいきょうについて正しいものに○を、正しくないものに△をつけましょう。

- (○) 夏の北海道は、ほかの地域とくらべて雨が少なく、つゆがない。
- (△) 台風の強い風と多くの雨で、電柱や木はたおされるが、作物がだめになることはない。
- (△) 冬の日本海側では、晴れる日が多く、太平洋側では、雪がふる日が多い。
- (○) 夏は、つゆや台風のえいきょうで、日本全体で雨が多い。特に太平洋側で多くの雨がふる。

1 教科書 p 46 **1** のグラフを読み取りましょう。

ほっかいどう 北海道の気候【おびひろ帯広】……………年平均気温は (6.8) °C で、寒さがきびしい。また、降水量は、他の地域より (少ない) ようだ。

にほんかい 日本海側の気候【じょうえつ上越】……………夏の気温は、(20) °C ～ (30) °C で、太平洋側と同じくらい。また、1月や12月は降水量が (400) mm 以上で、たくさん雪が降っていることが分かる。

中央高地の気候【かるいざわ軽井沢】……………1月の気温は (0) °C より低く、8月は (20) °C に近い。夏と冬の気温差が大きい。また、一年を通して、(降水量) が少ない。

太平洋側の気候【しずおか静岡】……………年平均気温は (16.5) °C で、あたたかい。また、夏や秋によく (雨) がふる。

せとないかい 瀬戸内海の気候【たかまつ高松】……………(太平洋側) の気候と似ている。年降水量は (1082.3) mm でやや少ない。

なんせいしょうとう 南西諸島の気候【な は那覇】……………12月の気温は (20) °C に近く、冬でもあたたかい。また、年降水量は (2040) mm で、雨が多い。

3 教科書 p 47 の「ひろとさんのまとめ」を参考に、これまでの学習をふりかえって日本の気候の特色についてまとめましょう。

- ・ 日本には (四季) があり (つゆ) や (台風) もくらしにえいきょうする。
- ・ 日本にはおおきく (6つ) の気候がある。
- ・ 各地の気候は、(南北の位置) や (地形)、(季節風) によって、あたたかさや雨、雪の量にちがいがあある。